



科学技術人材育成費補助金「テニュア・トラック普及・定着事業」(若手研究者の自立的な研究環境整備促進)
 群馬大学テニュアトラックプログラム「若手先端科学研究者の研究環境改革」

先端科学研究指導者育成ユニット

柴田淳史 研究室

(キーワード : DNA修復)

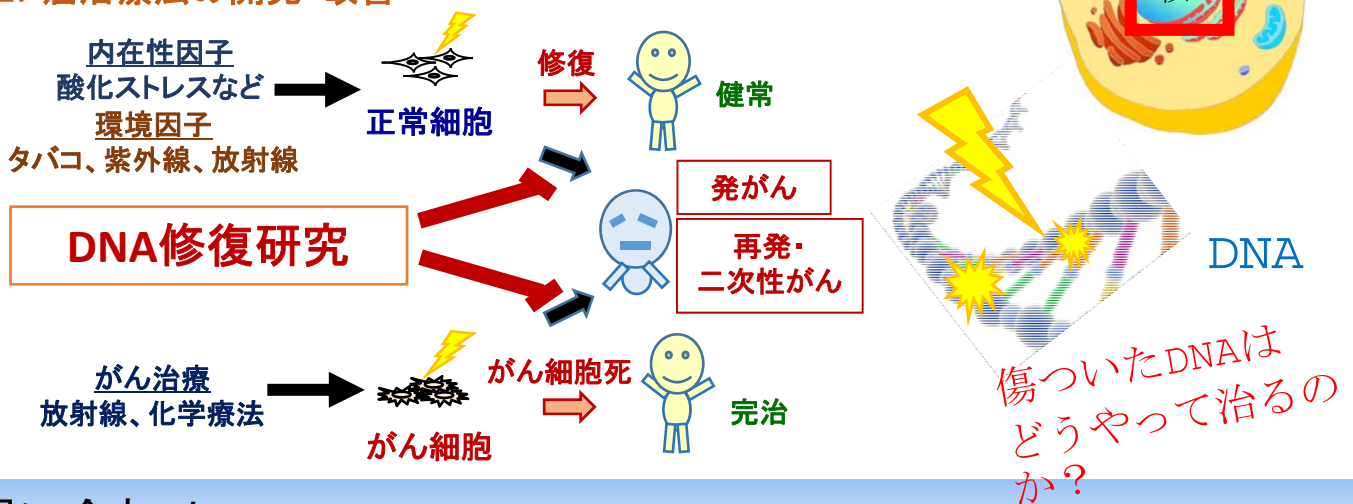


研究目標と仕事の内容

日本人の3人に1人はガンで亡くなっていると言われていますが、40代~80代までで見ると、ガンが死亡原因の1位となっています。近年の目覚ましい科学技術の発達により、さまざまなガン治療方法が開発されつつありますが、未だ撲滅には至っておりません。日本の放射線治療は欧米と比較しても全く遜色なく、非常に優れた技術により日々治療成績を高めています。放射線治療時には細胞内のDNAが傷つき、それに伴ってDNA修復反応がスタートします。我々の研究室ではDNA修復の視点から、放射線治療を含めた種々の癌治療で生じるDNA損傷がどのように修復されるかを解明することで、ガン治療の改善を目指します。上記目標に共感できる方、ぜひ見学にいらしてください。

DNA修復の視点から見た癌研究の二つの意義

1. 発がんメカニズムの解明
2. 癌治療法の開発・改善



問い合わせ

研究をスタートするのに必ずしも大きな目標はいらなくてもいいかもしれません。サイエンスへの興味は実はいつも単純だったりします。「切れてしまったDNAがどうやって治るの?」と興味湧いてきた方、ぜひご連絡ください。また、より詳しい研究内容については、メール又は電話にて気軽にお問い合わせください。

TEL : 027-220-7977

メール : shibata.atあつとgunma-u.ac.jp ※迷惑メール防止のため「あつと」を@に変更して下さい。

研究室HP: http://asrldu.dept.med.gunma-u.ac.jp/ashibata/atsushi_shibata.html

(研究業績: Shibata et al., Mol Cell, 2014, EMBO, 2011, MCB, 2010等。その他の業績はHPから見られます)

柴田淳史のプロフィール 1977年生まれ

学歴	職歴
2001年 共立薬科大学 (現慶応大学) 薬学部卒	2006 - 2013年 英国サセックス大学 研究員
2003年 共立薬科大学 薬学修士号取得	2013年3月から 群馬大学 テニュアトラックYA助教
2006年 東京医科歯科大学 博士号取得 (医学)	